

令和6年度 介護労働懇談会の開催 長野支部

・開催日時: 11月13日(水曜日)13:30~15:30

テーマ・議題

- ①介護労働実態調査について
令和5年度介護労働実態調査の報告
- ②事例発表「採用・人材確保の取組について」
社会福祉法人梓の郷 経営管理課長
- ③長野労働局職業安定部職業安定課
「介護人材の確保・定着について」
意見交換及び各機関より情報提供

主な参加機関

長野労働局、長野公共職業安定所、松本公共職業安定所、
長野県健康福祉部、長野市保健福祉部高齢者活躍支援課、
松本市健康福祉部高齢福祉課、長野県社会福祉協議会、長
野県介護福祉士会他



討議内容

- 令和5年度介護労働実態調査について報告
 - ・介護労働センターが公表した介護労働実態調査(県版)等を説明を行った。
- 事例発表「採用・人材確保の取組について」 社会福祉法人梓の郷 経営管理課長による講演
 - ・人材確保のためのルートを多く持つこと、法人のブランディング、職場満足度の向上を考えた。研修の充実や、キャリアパス面談・資格取得等により既存の職員の満足度の向上を目指した。既存職員の満足度向上は離職防止につながり、職員からの人材紹介につながる。その繰り返しで法人としての評価の底上げを図っている。また、近年のワークライフバランスの動向を重視しており、週休3日制や、育児・介護スライド勤務等、様々な働き方を選択できるようにしている。
 - ・各種認証制度の取得や自社HPのリニューアル、SNS等を活用し魅力発信を行い、直接採用につなげている。
- 雇用情勢について、長野労働局職業安定部職業安定課より報告。
 - ・雇用情勢は1.22倍で順調な中、医療介護の有効求人倍率は高く、介護については他産業に比べて約3倍。介護分野は賃金が低い状況が見られるが、処遇改善の取組や平均年間休日の改善に努めている事業所が多くみられる。高い賃金を提示した事業所は定着率が高い実情があるため、処遇改善は引き続き大きな課題となる。
 - ・民間の人材紹介会社を使うと、紹介料が高い上に定着率が悪い、そして再度求人を出すの繰り返しで経営圧迫につながっている。厚生労働省では、紹介手数料の返戻に関して監督を行っている。(トラブルに際しての窓口設置)
- 意見交換、及び、各機関からの資料説明。
 - ・若年層のハローワーク利用の低下、派遣の短時間勤務などのマッチングが多様化しているため、働き手目線の求人が求められている。
 - ・ダイバーシティワークの取組を実施。正社員やフルタイムの人材確保だけではなく、副業、バックパッカー等の求人に対し、多種多様な人材の活用を想定し支援を行える事業を展開中。
 - ・小中学生に介護・福祉に興味を持ってもらうため、魅力発信のためふっころフェスやフクシニアというイベントを実施。
 - ・HWの求職者へ職業訓練を実施。介護分野ではR5年度43コースを計画したが応募に至らない状況が課題。
 - ・その他、各団体、人材育成・離職防止・定着のため各種セミナーを開催している。

参加団体からのお知らせ・状況報告等

- ・長野県、県社協 12月16日、12月25日に訪問介護セミナー開催。
- ・人材確保に向けた労務管理の専門家無料相談 11月は介護強化月間。
- ・中小企業事業場安全衛生サポート事業 11月は過労死等防止月間。
- ・HW松本 福祉のジョブセミナー毎月開催。

事務局からのコメント

- ・お問い合わせは、TEL 026-232-0898 に御連絡ください。